

つかはら い せき ③塚原遺跡

(関市重要指定文化財 千疋)

塚原遺跡が初めて発掘されたのは昭和29年です。昭和62年度に発掘した遺跡を保存・復元し、平成4年度に塚原遺跡公園として開園、平成20年度にはリニューアルされました。園内には縄文時代中期の「むら」と古墳時代後期の古墳群が復元整備され、異なる2つの時代の風景・雰囲気を感じることができます。また、出土した土器や石器は隣接する塚原遺跡公園展示館で見ることができます。



○縄文時代中期の風景

今から約4000年前の「むら」を復元しています。中央に広場があり、そのまわりに数棟の掘立柱建物ほったてはしらたてものや竪穴住居たてあなじゅうきょが建っています。塚原の「むら」には30人ぐらいが住み、周辺の山で狩りや木の実をとったり、長良川で魚をとったりして生活していたと考えられており、石鎌せきぞくや石錘せきすいなどが出土しています。

平成20年に1号復元住居(写真左側)の茅葺きの平地住居に建て替えられ、2号復元住居(写真右側、竪穴住居)の内部には当時の生活の雰囲気が伝わるように石囲炉いしがこいろと火棚ひだなが設置されました。

関の文化財探訪

その2

関の「文化財」を紹介します。

照会先 文化財保護センター ☎46-2313

③

○古墳時代後期の風景

今から約1400年前には古墳が群集して造られました。37基の古墳が確認されています。古墳には横穴式石室という石の部屋があり、その中に死者を安置し、須恵器すえきという硬い土器や耳環じかん(耳飾り)などが副葬もつかんされていました。1号墳には鉄製のくぎが残っていたことから木製の棺(木棺)が入っていたことがわかっています。

公園のすぐ東側の林の中には発掘調査をしていない古墳がひっそりと今も残っています。



【利用案内】 塚原遺跡公園展示館……開園・開館時間：午前9時～午後4時30分、入館無料
休館日：毎週月曜日、祝日の翌日、年末年始

【アクセス】 国道156号線小屋名交差点から西へ、千疋大橋を渡り長良川右岸を上流へ
東海北陸自動車道関ICから車で約30分
関市シティバス・岐阜バス「千疋大橋」下車、徒歩20分